

# 令和元年第38回定例公安委員会会議録

開催日時 令和元年12月5日(木) 午前11時25分～午後2時50分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時25分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 伊貝警務部長 谷村首席監察官 長谷高生活安全部長  
松岡刑事部長 本庄交通部総括参事官 柴田警備部総括参事官  
竹森警察学校長 妹尾情報通信部長 岡山境港警察署長

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官)

3 議題事項

令和2年鳥取県警察運営指針等の策定等(警務部)

### 警察本部

令和2年の鳥取県警察の大綱方針となる運営指針及び治安向上のために取り組むべき施策の方向性を定める重点目標等を策定する。

運営指針は変更なく、「県民の期待にこたえる警察」、サブタイトルは、「安全で安心な鳥取県をめざして」である。

運営指針は昭和62年から変更しておらず、県警察が目指すべき普遍的な方針であることから、来年も同様とする。

サブタイトルは平成14年から設定しており、平成17年、18年は一時的に変更しているが、平成19年以降は同一のサブタイトルである。これも、県民が警察に求めるものを端的に表していることから、来年も同様とする。

重点目標についても本年と変更していないが、重点目標の「重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進」の推進項目を2点変更した。

1点目は、「新たな刑事司法制度に対応した警察捜査の構築に向けた取組の推

進」としていたものを、「新たな刑事司法制度に対応した警察捜査の推進」に改める。これは、平成28年に公布された刑事訴訟法等の一部を改正する法律が本年6月に施行されたことに伴い、「構築に向けた取組」ではなく、新たな刑事司法制度を踏まえ、警察捜査を推進することから、変更するものである。

2点目は、「重要犯罪、重要窃盗犯等の検挙活動の推進」としていたものを、「重要犯罪、重要窃盗犯、重要知能犯等の検挙活動の推進」とした。これは、構造的不正事犯をはじめとする重要知能犯事件も同等に重要であることから、追加したものである。

運営指針等については、全職員及び県民等に対する運営指針等の効果的な周知を図ることを目的として、掲示物デザインを選定している。本年も職員からデザイン案を募集し、職員を対象とした投票結果や知的財産保護等を勘案し、デザインを選定した。これらは、執務室で掲示するなどして周知を図るとともに、各種研修等の機会を通じて組織全体への浸透を図り、県民の期待にこたえる活動を推進していく。

#### 委員

運営指針のデザイン案は、もう少し力強いフォントにしても良いかと思うが、全体的には、この内容で良い。

#### 警察本部

デザイン案については、作成者の意向等も含め、検討する。

## 4 報告事項

- 各種大会報告（警務部）
- ミャンマー国警察幹部研修受入れ（結果）（警務部）
- 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

### （1）各種大会報告（警務部）

#### 警察本部

12月6日、警察学校において、令和元年度鳥取県警察拳銃射撃競技大会を開催する。

競技は、団体の部と女子個人の部を行う。団体の部ではA組とB組に分け、A組は、本部A、本部B、警察学校、鳥取警察署、倉吉警察署及び米子警察署の計6チームであり、選手を5人登録する。B組は、機動隊、郡家警察署、智頭警察署、浜村警察署、琴浦大山警察署、境港警察署及び黒坂警察署の計7チームであり、選手を3人登録する。女子個人の部では、機動隊を除く各チームから計14人が出場予定である。今回は、職員の出場機会拡大を図るため、過去3年間に本

大会に出場していない者を1人以上、選手登録することとした。また、女性選手は団体、個人を含め、警察学校、鳥取警察署、倉吉警察署及び米子警察署は3人以上、機動隊を除く他のチームは1人以上出場することとした。

各種大会の出場結果については、11月3日、大阪市中央体育館において、第67回全日本剣道選手権大会が開催され、県警察から男性警察官1名が出場し、健闘するも1回戦敗退であった。

11月7日、中国四国管区警察学校において、令和元年度中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会が開催された。団体競技と女性の個人競技が行われ、県警察は団体9位、個人競技の最高位は10位であった。

11月13日、鳥取県立布勢総合運動公園において、令和元年度鳥取県警察駅伝競走大会が開催された。これは、警察職員の精強な職務執行力の基礎となる走力・持久力等の体力向上及び士気の高揚を図ることを目的とし、駅伝競走とロードレースを行い、警察本部及び各警察署から計16チーム（うちオープン3チーム）及び女性22人が参加した。

走路はいずれも陸上競技場外周公園内を周回する3キロメートルのコースであり、駅伝競走A組（本部A、本部B、警察学校、鳥取警察署、倉吉警察署及び米子警察署）は、優勝・警察学校、2位・鳥取警察署、3位・本部Bであった。B組（機動隊、郡家警察署、智頭警察署、浜村警察署、琴浦大山警察署、境港警察署及び黒坂警察署）は、優勝・境港警察署、2位・琴浦大山警察署、3位・機動隊であった。また、男子及び女子ロードレースについても上位3人を表彰した。

開催に当たり、本年4月に入校した初任科生の家族に宛てた大会案内を作成し、家族が観戦できるようにしたところ、何組かの観戦があった。

11月26日、広島県立総合体育館武道場において、令和元年度中国四国管区内警察柔道・剣道大会が開催された。大会では、それぞれ、男子団体戦と女子個人戦が行われ、剣道の団体戦で3位に入賞した。管区剣道大会団体戦における入賞は、昭和61年度の2位以来、33年振りであった。個人戦では、剣道女子のベスト8が最高位であった。

#### 委員

剣道の3位入賞は素晴らしい。日頃の訓練の成果だと思う。

#### 委員

いつも各種大会の報告を受け、警察ならではの行事だと感じている。特に、県下の大会は、署員が大会に向けて盛り上がり、一致団結しているように感じている。警察官に必要な体力向上だけでなく、職場の雰囲気づくりにも効果があると思う。

(2) ミャンマー国警察幹部研修受入れ（結果）（警務部）

## 警察本部

11月25日から同月27日までの間、ミャンマー国警察幹部研修の受入れを行った。

研修では、公安委員長に公安委員会制度等に関する講話を行っていただいたほか、本部長による本県警察の組織・体制、ボランティアや地域住民との連携協働等の具体的な活動等に関する講話や、鳥取警察署長及び浜村警察署長による管内情勢に応じた地域住民と協働した取組や治安確保の在り方等について講話を行った。

施設等の視察では、警察本部において、交通管制システム、通信指令システム等の視察を行ったところ、研修員からは、「ミャンマーには、直接、警察が交通をコントロールするシステムがないので、導入したい。」旨のコメントがあった。

鳥取警察署及び浜村警察署では、庁舎見学、警ら用無線自動車、装備資器材等のほか、鳥取警察署長による通常点検、幹部会議等の視察も行った。

広報啓発活動の視察では、警察音楽隊の訓練視察と活動内容の研修、岩美幹部派出所における訪問ポリス隊による巡回連絡、道の駅「きなんせ岩美」における警察官とボランティア合同による交通事故・特殊詐欺防止の啓発活動の同行視察を行った。研修員からは、「住民と警察の距離が近く、信頼関係が強まる。こういった活動をミャンマーでもやってみたい。」旨のコメントがあった。

防犯訓練活動の視察では、イオンモール鳥取北店における持凶器殺傷事件対応訓練の視察を行ったところ、「ミャンマーでも訓練を行っているが、日本では、警察と民間との連携がうまく行われていることが分かった。」旨のコメントがあった。

駐在所活動の視察では、鹿野駐在所管内で巡回連絡の同行視察のほか、浜村駐在所の警察官及び家族との懇談を行った。

研修を通して、「日本の公安委員会制度は、警察業務に市民の視点を取り入れることができるので良い制度だと思う。公安委員長の講話は、とても参考になった。」、「交番制度をミャンマー風アレンジして取り入れたい。今後、巡回連絡も実施していきたい。」、「官民連携の活動を視察できたのは良かった。」などの感想があった。

## 委員

国が違えば制度も異なる。少しでもミャンマー国の参考になればと思う。

### (3) 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

## 境港警察署

当署では、住民本位の活動への意識啓発のための具体的施策として、若手警察官を中心に、地区の運動会、納涼祭、一斉清掃、防災訓練等の地域行事に積極的に参加している。地域住民からは、「高齢者が多い地区だが、若い警察官に参加してもらえると活気が出る。」などの反響があるほか、若手警察官からも、「通常

の勤務では体験できない活動を通じて、住民と一体となる楽しさを実感できた。地域の方と話ができ、警察と地域住民との距離を縮めることができた。この体験を今後の警察人生の精神的支柱としたい。」などの感想があった。

当署の警察署協議会で、協議会委員と若手警察官との意見交換を行ったところ、委員から「若手警察官も地域行事に参加してはどうか。」などの意見があり、当署の取組を紹介しているが、今後も若手警察官を中心に、各種行事に参加したいと考えている。さらに、当署では、市内の小学校、保育園、幼稚園を対象として、若手警察官とボランティアによる交通安全巡回講演を行っている。参加した警察官は、内容が伝わりやすいよう工夫するなど、着々と成長した姿が見受けられる。

次に、四官合同女性職員意見交換会についてであるが、これは、当署、米子警察署、陸上自衛隊米子駐屯地、境海上保安部及び西部広域行政管理組合消防局に勤務する女性職員の意見交換会であり、相互に意見交換し、関係機関の連携強化と親睦を深めることを目的としている。本年は10月18日に開催され、今回で2回目となる。

会では、女性活躍推進に関する各機関の現状、女性用施設の状況、仕事を続けていく上での家族とのコミュニケーションの取り方等について意見交換が行われ、「男性職員の育児休暇の取得は、県警察が他機関と比べて進んでいると感じる。」などの感想があった。どの機関も女性職員の増加に伴い、女性用施設が不足しているようであり、当署でもトイレの改修や女性用シャワー室の新設を計画している。

#### 委員

とても地域に密着した活動をされている。境港市は、外国客船の来港や、水木しげるロードなどの観光地があり、外部から人が多く訪れる場所だと思うが、日頃から署員の方が頑張っておられると思う。

#### 委員

女性職員の意見交換会は非常に興味がある。どの機関も男性が多い職場であるが、男性、女性に限らず、意見を聞き、吸い上げることは組織として必要だと思う。女性用施設の整備を計画されているとのことだが、男性用施設はきちんと整備されているか。

#### 境港警察署

庁舎の広さの問題もあり、男性用更衣室も手狭であるため、工夫しながら使用しているのが現状である。

#### 委員

男女限らず、施設を使いやすいように整備していただき、みんなが働きやすい職場にしていきたい。

## 委員

地域住民と触れ合うことで更に信頼感が増すと思う。他機関との女性職員との意見交換は、境港警察署と米子警察署ならではの非常に良い取組だと思う。引き続き、地域住民のための活動をよろしく願います。

## 5 その他

○鳥取県警察音楽隊第18回ふれあいコンサートの開催（警務部）

○令和2年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式の開催（刑事部）

(1) 鳥取県警察音楽隊第18回ふれあいコンサートの開催（警務部）

## 警察本部

12月14日、米子市公会堂において、鳥取県警察音楽隊による定期演奏会「ふれあいコンサート」を開催する。

これは、県民と警察の融和を図り、警察広報を効果的に推進することを目的として、平成12年から県内の東・中・西部地区の持ち回りで年1回開催している。

今年は、山陰少年少女合唱団リトルフェニックスをゲストに迎える。また、賛助出演として鳥取県職員有志で活動する楽団ウインド・サウンズ・サークルも迎える。

なお、演奏の合間に、米子警察署交通第一課による交通安全広報を予定している。

## 委員

毎年楽しみにしている県民も多いと思う。良いコンサートとなることを期待している。

(2) 令和2年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式の開催（刑事部）

## 警察本部

12月13日、警察本部において、令和2年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式を開催する。

令和2年は、警察犬10頭、嘱託警察犬指導手8人を嘱託するが、本年より減少した。警察犬に関しては、直轄警察犬導入に向け、引き続き取り組んでいく。

なお、交付式の前には、本年限りで指導手を退任される方に対し、感謝状を贈呈する。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 3 事前説明

交通規制の議決（第4期）

### 4 報告事項

- ・ 鳥取県警察署協議会代表者会議関係
- ・ 犯罪被害者等早期援助団体に関する事業規程の変更
- ・ 訟務案件
- ・ 行政処分関係（運転免許課）
- ・ 警備情勢

### 5 決裁

令和2年鳥取県警察運営指針等の策定等

### 6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

### 7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。